

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		運動療育スクール jump 宇部校				公表日	令和8年 2月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用定員を厳守しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		状況によって個別指導に対応できるように人員配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		フラットな環境にしています。また、視覚支援を用いて、わかりやすい構造にしています。	主として運動療育を行っているため、現在車いすへの対応は行っていません。今後、必要に応じて対応していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		利用後の清掃、利用前の消毒を徹底しています。また活動(レッスン)中は、遊び道具が児童の視界に入らないようにしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室ではありませんが、個別で過ごせる空間を作っています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		学期毎に事業所目標・個人目標を設定し、振り返りを行っています。	PDCAサイクルの社内研修実施を検討しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケート結果に基づいてスタッフ間で話し合い、支援に活かしています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の支援前の打ち合わせや支援後のミーティング、月に1回事業所ミーティングを開催し、出された意見をその都度反映して業務改善を行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在第三者による評価は行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月社内研修を実施しています。また、外部研修に参加しています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページ上で公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者の要望や児童の課題についてスタッフ間で話し合い、個々に応じた計画書を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		その時の対象児童の状況、課題の進捗を踏まえて、この児童にとっての当事業所でできる最善の支援をスタッフ間で話し合い、計画書を作っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画書が作成・更新されるごとに、支援に関わるスタッフは必ず目を通し、支援方法を確認しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントシート及び運動機能指標に合わせて、そこに日々の様子や気づきを踏まえた評価を行っています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		月に2回話し合いの時間を設けています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		特性に配慮しながら、楽しくからだを動かせるようなメニューを立案しています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		小集団での運動による療育のため、集団活動がメインとなりますが、児童の状況やニーズに合わせて個別活動を組み合わせています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		ミーティングの実施、記録の作成等で情報を全スタッフに共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援終了後に記録、その都度改善策を話し合っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1度モニタリングを行い、個別支援計画書を更新しています。また、児童の状況や必要に応じて見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動（レッスンやレクリエーション）、自由時間で自己選択する機会をできるだけ多く設けています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者と、可能な限り対象時の支援により多く関わっているスタッフが出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		担当者会議や訪問等、必要に応じて児童発達支援事業所と情報共有しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		対象となる利用者がいません。	対象利用者がいる場合は、見学や話し合いの場を設け、連携を図っていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		会議や研修等に参加しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		事業所近くの公園等で地域の児童と一緒に遊んでいます。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			専門性を高めていけるよう、研修の機会を設けていきたいと思っています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		見学や契約時に説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的なモニタリングに加え、児童の状況や保護者の要望に応じて意向を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談内容を記録し管理者に報告。その都度対応しています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○	土曜限定ですが、参観日を開催して保護者同士が交流する機会を、また祭りなどのイベントを開催してきょうだいと一緒に活動し交流する機会を設けています。	父母の会、保護者の会に関しては、保護者から希望があれば今後検討していきます。きょうだい児の交流に関しては、長期休暇や祝日にイベント開催を検討しています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	苦情内容を記録し管理者に報告、その都度迅速に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	年3回、活動の様子を記載したおたよりを発行しています。またアプリより活動の様子やイベント予定を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人情報ガイドラインに基づき管理しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	なるべく視覚的に伝えていきます。保護者とは電話やアプリ、メールなど連絡の取りやすい方法で伝達しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		個人情報保護の観点から、現在は予定しておりません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	各種マニュアルを策定し、事業所内で誰でも閲覧できるようにしています。スタッフに関しては定期的に研修、訓練を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	自然災害時、感染症の業務継続企画を策定し、定期的に研修、訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	契約時に確認しています。てんかん発作に関しては対応マニュアルを作成、すべてのスタッフが支援中は常時携帯し対応できるようにしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	契約時に確認、対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画を作成し、定期的に研修、訓練を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		今後周知に努めてまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	定期的にヒヤリハット、事例検討ミーティングを実施、記録作成等で情報を共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	定期的に社内研修を行っています。また、外部の研修に参加し伝達研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	現在対象となる利用児童はいません。どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかは、組織的に決定しています。		